

要望6項目を提出

来年度県予算に建産連が

(社)建設産業団体連合会
(志賀久太郎会長)は九月二十二日、県議会各党各会派に對し平成七年度県予算編成に対する要望を行った。

これは毎年この時期に行われているもので、今回は六項目の要望が提出され説明を受ける。

けた県議会議員らは概ね理解を示した。同日は、建産連傘下団体を代表して本協会の國津政夫会長ら建産連副会長団体が勢揃いし、午後一時半から自民党、統一社会党、各会派の順に要望を開陳した。

自民党に対する要望は、岩手県で開催された全国建産連会議に出席した志賀久太

郎会長に代わって大堀浩副会長(社)測量設計業協会会長)があさつに立ち、本県建設業界がおかれている現状について説明すると共に、公共工事の入札契約制度が変わること大きな変革の中にあることなど大きな変化を遂げ、地場産業としての役割を果たすためにもここに掲げた要望

事項の実現が必要」と出席者へ理解を求めた。

引き続いて遠藤勝男専務理事が①公共事業予算の確保について②新しい入札・契約制度のもとで中小建設業者の受注機会の確保③市町村発注建設工事に係る適正な競争条件

がござります。本県建設業主の方へ」と称して今度は高齢者多数雇用奨励金(今年度から制度の内容が一部改正されている)の支給申請事務手続き説明会を十月二十日より原町市福祉会館など五カ所で開催する。

これは、六十歳以上六十五歳未満の高齢者を6%を超えて雇用している事業主に対して支給される奨励金で、高年齢者の多数雇用をより一層促進・定着を図ることを目的とした国助成制度。支給対象業主は、①労働協約または就業規則により六十歳以上の定年を定めているか定年を

も平成十年度までに限り評価対象となる)。これらを背景にこの資格取得を促進するため、今度から五年間に限り二級についても特別研修を実施することになったもの。研修会場は全国の主要都市が予定されており、

上記の講習の後、最終日に建設業の経理に関する実務検定試験が行われる。受講資格は三級の有資格者で、かつ

年齢の定年を定めているか定年を

も平成十年度までに限り評価対象となる)。これらを背景にこの資格取得を促進するため、今度から五年間に限り二級についても特別研修を実施することになったもの。研修会場は全国の主要都市が予定されており、

上記の講習の後、最終日に建設業の経理に関する実務検定試験が行われる。受講資格は三級の有資格者で、かつ

年齢の定年を定めているか定年を

も平成十年度までに限り評価対象となる)。これらを背景にこの資格取得を促進するため、今度から五年間に限り二級についても特別研修を実施することになったもの。研修会場は全国の主要都市が予定されており、

上記の講習の後、最終日に建設業の経理に関する実務検定試験が行われる。受講資格は三級の有資格者で、かつ

年齢の定年を定めているか定年を

来年2月から実施

建設業経理事務士二級

建設業振興基金は今年度士二級特別研修を来年2月から七月にかけて実施する。

現在、建設業経理事務士の資格を取得するには年一回の検定試験に合格する方法と講習と検定試験を組み合わせた

高い技術力称える

福島市優良工事表彰式

建設大臣認定建設業経理事務士二級特別研修を来年2月から七月にかけて実施する。

現在、建設業経理事務士の資格を取得するには年一回の

検定試験に合格する方法と講習と検定試験を組み合わせた

検定試験に合格する方法がある。特別研修はこれまで三、四級に限定されていたが、公

共工事の入札に係る経営審査制度が全面的に改正され、建

設業の経理処理について公正

かつ正確な経理処理や原価計

算等を行う必要があることな

どから二級以上の建設業経

事務士の数が評価対象になる

ことになった(三級について

のための努力に敬意を表します。私も寒い冬、そして暑い夏にひたむきに働いている皆さん方社員の姿を目の当たりにして心強さを感じました。今後とも安全で快適なまちづくりの為に協力を頼みたい」と受賞者を労った。

また、二階市議会議長は「優良工事表彰は今年で十四

年目であり年々施工管理が向上して成果があがっている。受賞した皆さんは今後とも新しい技術の習得に努めていた

だきたい」と祝辞を述べた。

福島市優良工事表彰式が九月一日、福島市の福島グリーンパレスにおいて開催され、本協会からは福島市国体記念体育馆情報部(高橋武社長)が電気設備部門(高橋武社長)が電気設備部門(高橋武社長)で表彰された。

吉田修一福島市長をはじめ市関係者や来賓、受賞者な

いさつに立った吉田市長は、「優良工事に選ばれた皆さんは他の模範であり、技術向上

PRパンフ完成

移動理事会で

本協会広報委員会が今年度の新規事業として製作を進めている「協会PRパンフレット」がこのほど完成し、十月七日に開かれた移動理事会で披露された。

このパンフレットは、フ

ルカラーA4版十二ページ

関係機関に配布される協会初のパンフレット

で、タイトルは「インテリ

ジェント・シティ・ロマンス」。エネルギーの主流をなす電気は生活の中で欠くことのできない存在であり、将来に向けて電気エネルギーのネットワークを構築することは、高度情報化時代をさらに進めるべきである。

主な内容としては、高度基盤整備に関わる業界を強調している。

建築設備の将来にわたる役割や、技術革新によって誕生した設備をはじめこの業界

は、高年齢者(六十歳以上

四歳)を多数雇用している事

業主の方へ」と称して今度は高齢者多数雇用奨励金(今年度から制度の内容が一部改正されている)の支給申請事務手続き説明会を十月二十日より原町市福祉会館など五カ所で開催する。

これは、六十歳以上六十五歳未満の高齢者を6%を超えて雇用している事業主に対して支給される奨励金で、高年齢者の多数雇用をより一層促進・定着を図ることを目的とした国助成制度。支給対象業主は、①労働協約または就業規則により六十歳以上の定年を定めているか定年を

も平成十年度までに限り評価対象となる)。これらを背景にこの資格取得を促進するため、今度から五年間に限り二級についても特別研修を実施することになったもの。研修会場は全国の主要都市が予定されており、

上記の講習の後、最終日に建設業の経理に関する実務検定試験が行われる。受講資格は三級の有資格者で、かつ

年齢の定年を定めているか定年を

も平成十年度までに限り評価対象となる)。これらを背景にこの資格取得を促進するため、今度から五年間に限り二級についても特別研修を実施することになったもの。研修会場は全国の主要都市が予定されており、

